

絆～加茂

発行・編集

社会福祉法人

川西市社会福祉協議会

加茂小地区福祉委員会

委員長 藤田 喜志夫

《今年を振り返っての想い》



加茂小地区福祉委員会
委員長 藤田 喜志夫

新年あけましておめでとうございます。新年を迎えましたがコロナウイルス感染の収束見通し立たず不安な日々を過ごしています。地域の皆様如何お過ごしでしょうか！

日頃は、福祉活動にご支援ご協力賜り厚く御礼申し上げます。令和2年からコロナ禍での事業は中止していましたが、令和4年度より一部再開し徐々に回復しつつあります。今ではサロン4拠点、居場所支援、囲碁・将棋・麻雀会等も盛況になりつつあります。生活支援お手伝いも数件進めています。加茂小地区には、加茂小コミュニティ協議会・加茂小地区福祉委員会・加茂小地区老人クラブ連合会(会員制407名)等主に三つの共同体があり個々の行事に、お互いに参加し盛況化すれば、地域共生に一步でも前進出来るのではないかと思います。例えば今年の加茂小コミュニティ「加茂まつり」での夏休み段ボール工作づくり、「にぎやか発表会」で花花たんぼぼ

手話会が日常単語の手話発表等、老人クラブでの「ボッチャ・親睦ハイキング・グラウンドゴルフ」等、福祉では「ふれあいサロン会」毎月一回4拠点再開への参加等、地域でのふれあい・つながりの推進が大切です。又、地区福祉委員会ではネットワーク会議・福祉研修会等も開催し子ども食堂のあり方等研修しました。休止中の「カフェ憩い」の再開も住民からの要望あり早期再開も検討しています。

高齢化が進む中人口減少、少子化等を考慮し各共同体が助け合い、積極的参加で地域を盛り上げ、地域共生社会の一步となるよう、加茂小地区福祉デザインひろばづくり事業の一環として、創成が大切であると痛感しています。

最後になりましたが、コロナが早く収束することを願うと共に、皆様のご健康ご多幸を祈念申し上げます新年のご挨拶と致します。



塗り絵 貼り絵会



ハーモニカ演奏会

* 令和5年度は2年任期で福祉委員改選の年に当たります。皆様ご支援下さいますようお願い申し上げます。

* イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン 毎月11日開催です。ご協力お願い致します!

「加茂小地区福祉委員研修会」に参加して

田中 雅美

令和四年十二月十三日に43名の参加者で大阪西成地区で子ども食堂を始められた方を講師に迎えお話を聞きました。

一人の少年の話から始まったのですが、地域や環境の違いでこんなにも問題や課題とする内容が違うのかと驚きでした。

誰もが持っている「しんどい」という気持ちや痛みは本人にしかわからないもので簡単に「分かる」とは言えないけれど、一緒に考えてあげる事は出来るよと講師の方が関わってこられた方達に言い続けて活動をされている事にとっても感銘をうけました。子どもだけでなく、大人にも「困った」や「助けてほしい」と思う事はあって、そんな時に身近な地域の「居場所」は大切なそして必要な場所だと感じました。

この加茂小地区にもそんな居場所作りを進めていけたら：と思います。普通の事を当たり前に出来ている日常に、家族に、自分と関わって下さっている皆様に改めて感謝の気持ちでいっぱいになった研修会でした。



加茂まつり 夏休み段ボール工作体験

福祉委員 上田 幸子
(芳川紙業)

8月28日(日)加茂小コミュニティ「加茂まつり」に参加させていただきました。

「夏休み段ボール工作体験」を実施しました。会社の開発部に、子ども達が楽しく簡単に出来る段ボールの作品を考えてもらいました。家型の小物入れ・一両電車・小さな材料を組み合わせて作るボール・フラワーと名付けたボール型の飾り・などで子ども達はいろいろと自分で作品を選び、組み立て、それぞれシールを貼ったり色を塗ったり、お母さんと一緒におしゃべりをしながら楽しく作業をしていました。



出来上がってきれいに出来たネと声をかけてもらえると、嬉しそうに満足の顔をしていました。子ども達の顔を見ていて参加させていたで本当に良かったと思いました。

福祉支援活動「樹木剪定」

川口 マヤ子

高く枝を伸ばした庭木の剪定をご近所の方に頼まれ活動を見知っていた、

「地区福祉ボランティア助けあい」に依頼しました。当日はやがて雨の予報で三十分早めて作業を開始され樹形を整え、雑草、落葉掃除、四人手際よい働きで一時間半程で作業終了。時を待つかのように落ちて来た雨の雫は、かつて、この庭を愛でた亡き主の想いを表すかのように木々を洗い始めました。



親睦ハイキングに参加して

笠原 好



食欲の秋11月8日加茂地区老人クラブ主催の「しい茸ランドかさや」のふれあいハイキングに60名が参加しました。JRで相野駅下車し、送迎バスに乗る人、歩ける人はハイキングコースを現地へ向かう。

全員揃ったところで取りたてのしい茸と地元の黒毛和牛、野菜でバーベキュー、大勢で会話もはずみ美味しい「しい茸ごはん」にお腹一杯。サービースにサツマイモ掘りと枝豆狩りをして袋一杯持ち帰り、山里のコスモス畑の中帰り道も楽しく散策できました。グループの写真撮影もあり参加した人たちは、毎年この様なハイキングを催してほしいとの声でした。



グラウンドゴルフ交流大会

手話サークルクローバー 森澤 尚子

手話通訳ボランティアで参加しました。

グラウンドゴルフは以前この大会で一度経験し楽しかったのを覚えています。手話通訳、大丈夫かなと思いつながら「ナイス!」「残念」など応援だけでもとても楽しかったです。



又、目の不自由な方がチームにいらっしやって、方向・距離・体の向きなどを教えてもらわれボールを打たれます。回数を重ねる毎にどんどん上手くなられて、すごいなおもいました。

世話役の皆様ありがとうございました。今年もこの大会で交流できますように。

「冬のにぎやか発表会」に出演して

花花たんぽぽ ろうあ者 花牟礼 孝

12月11日、日曜日加茂小コミュニティ「にぎやか発表会」に、花花たんぽぽ手話会よりろうあ者3名が出演し日常単語の手話を発表しました。単語は挨拶・家族・日常生活・病気・天気予報・季節・行事等約30単語手話で説明しました。会場の皆さんと一緒に手話勉強し楽しい雰囲気でもかったです。何回も繰り返し教え、笑いもあり皆さんも一緒に楽しんでくれました。楽しい抽選会でもろうあの方もビール券が当たり良かったです。私達は外れ残念でした。

お願いですが、毎月第一土曜日10時より南花屋敷中央会館で花花たんぽぽ手話会開催していますのでお気軽に来て下さい。よろしくお願ひします。

※ 会場が令和5年4月頃加茂ふれあい会館コミュニティ室に変更になるかも？



居場所支援活動「将棋」開催にあたって

将棋部 武市 勝之

我が加茂小地区福祉委員会で昨年より新たに将棋部が開設されました。加茂地域の人、南花屋敷地域の人で将棋ができる人、将棋が好きなお人達が会館に集まり「毎月一回午後二時」より楽しくやっています。皆んな勝ったり負けたり笑いながら一局、一局終わるたびお茶を飲みコーヒーを飲みながら友好を深めています。

勝負の時は真剣に盤上の相手の駒の動きを見て自分の打つ次の一手に頭を使い知恵を絞って考えて、一駒・一駒すすめていきます。知らず知らず脳に刺激を与え脳が活性化されているように思います。将棋をする事で自然にボケ防止になっているように思います。

高齢になり会社を退職し一人家の中で何もせず考える事もなくぼんやりした生活が続いている人は、認知症等になりやすいと聞いています。健康のためにも体を動かし頭を動かし心身共に健康な人生を送りたいと思います。毎月一回でも将棋をする事は非常に良い事とおもいます。今後とも長く将棋をして楽しみながら、健康第一のために。



バンビ子ども会

山田 愛子

まだまだコロナ禍で子ども会のイベントが思い通りできませんでしたが、秋に伊丹イオンでの映画鑑賞、冬休み前にはクリスマス会を実施し久々に子ども達の笑顔を見る事ができ嬉しく思いました。

私の上の子が入会した頃は会員が20名。現会員数7名…。今後入会してくれる子どもがいなければ再来年度には2名になるので活動休止になります。

私は子どもが色々な学年の子とも達と交流でき仲良くなるきっかけ作りになると思い入会を決めました。親は役員がまわってくるという負担が大変だと思いかもしれませんが、親同士も入会しなければ知り合うことも話すこともなかった方たちと仲良くなれ地域の繋がりがや、色々な人達とも知り合うきっかけができたので経験を含め得たものはたくさんあります。

今後、活動がどうなるかわかりませんが、私は子ども会に入会して良かったと思います。

